

「未来へ」

臨時休校も3週目に入りました。前週の前半は本校で高校入試が実施されていた関係で、卒業生や在校生の関係は一切登校をお断りしていました。

13日(金)からは一部部活動については平日2時間の活動、学習活動については午前10時から午後4時までの教室開放による自学自習を実施しています。

また、卒業生も担任にいろいろな報告に来てくれたようです。3月1日の卒業式から早くも2週間が経過しました。卒業式を目前に控えた予餞会の日に久しぶりに『坪井新聞』

(右)が発行されました。記事の中にあるように、卒業式では泣かないようにがんばりましたが、答辞のところではさすがに目頭が熱くなりました。来年の新3年の卒業式では再度がんばりたいと思います。

さて、在校生の皆さんは今何をがんばっていますか。先ほどの卒業生答辞の最後の部分に

「私たちはこれから別々の道へと進んでいくこととなりますが、今後も学ぶ力、考えて行動する力、仲間と協力する力、その全てを磨き、自分たちの未来を切り開いていきます」

とありました。高校時代は教師から与えられる学習も多くあります。しかし、そこから先は自分で何をやりたいかがはっきりしていないと前に進めなくなります。本校での3年間でしっかりとした羅針盤をもってください。

3月17日(火) 校長 坪井基紀

(第3種郵便物認可) **Once More Ⅳ** ☆祝・卒業目前号☆

THE TSUBOI SHIMBUN 2020 (令和2)年2月27日発行 号外

坪井新聞 愛知県立岡崎北高等学校 予餞会

岡崎市石神町17番地1
(05664)22-2536

卒業式前の校長に聞いた

本紙記者が卒業式前の校長を直撃取材した。

Q 卒業式を前にした今の気持ちは?

校長 とても緊張しています。しかし、3年間努力を重ねてきた生徒の良き門出をお祝いできるように頑張ります。

Q 何を頑張るつもりなのか?

校長 まず卒業式ではしっかりと式辞を話すつもりです。厳粛な式典なので冗談を盛り込めないのが辛いところです。それと過去4年間の卒業式では泣いてしまったので、今年泣かないようにしたいと思っています。

Q 岡崎北高校1年目の印象は?

校長 本校は歴史と伝統がありますが、ポプラ坂のような坂もあります。自転車での通行は十分気を付けてほしいと思っています。特に寒い時期に下校する時にポプラ坂はとて暗かったので、事務室に頼んで電灯をつけてもらいました。

Q 今日寒い、何か心温まる話はないか?

校長 5月、とある日曜日のことです。校長室で仕事をしていると窓を叩く音が聞きました。そこには20代半ばくらいの若者男女7人が立っていました。なんだろうと思い窓を開けて話を聞いたところ、本校を卒業したカップルが6月に結婚するので、そのときに流すサプライズビデオの撮影のために訪れたということでした。そのために校内の撮影を許可してほしいとの話で、もちろん許可をしました。ご友人の結婚を祝福するとともに是非その人たちの本校での思い出をよみがえらせてほしいと言葉を添えました。

Q 卒業する3年生に言いたいことは?

校長 各自で親に対して何かを語ってくれるとうれしいです。お礼でもいいし、将来に向けた決意でもいい、場合によっては要望や意見でもいいと思います。卒業という節目だから自分の思っていることを素直に語るができるのではないのでしょうか。

Q もう少し何か贈る言葉のようなものはないか?

校長 皆さんの人生はこれからの方が長い道になります。さだまさしさんの『主人公』という曲に「自分の人生の中では **たれもが みな主人公**」という歌詞があります。これから歩いていく人生では、認められないときも評価されないときもあることでしょう。でも、自分は自分の人生の主人公なんだから、そういうときでも腐ったり挫けたりせずに自分のやれることをやろう、そんな気持ちで立ってほしいと思います。このさださんの『主人公』は今から30年ぐらいあとに聴くと何か感じるものがあると思います。特に、一生懸命人生を歩いた人にはぐっとくるはずですよ。まずは卒業後の第一歩、良いスタートが切れるよう心から祈っています。



【写真】和田学年主任(左)と皆さん



【写真】白昼の校舍・ポプラ坂(左)と本紙記者(右)

■編集後記■「ご卒業おめでとうございます。」

本紙編集部からも岡崎北高校3年生の皆さんにお礼を申し上げます。今回は3月1日の卒業に向けて号外ということで生徒会の原先生から発行依頼を受けました。卒業の記念としてもらえれば幸いです。これからの活躍を期待しています。